

有限会社 シューズ・ミニツシュ

代表取締役・靴職人 高本 やすおさん

【Re:getA】は“下駄をもう一度”というコンセプト。下駄のようにかかとかから着いて蹴りだす感覚を追求し、丸みを帯びた独特な形に行き着いたそう。



シューズやサンダルの製造・卸を手掛け、【Re:getA】【Porma-ma】【Regetta Canoe】の3つのオリジナルブランドを展開。同社は生野区民センターホール「リゲッタ IKUNOホール」のネーミングライツパートナーになっていただいています。



靴職人でもある高本さんは、安価な海外製品の影響で事業存続の危機に直面した際に、下請けを続けるより企画から製造・卸までを一貫して担うメーカーへ転じることを決断。



試行錯誤を繰り返しながら、はき心地がよく、歩きやすく、デザイン性に優れたものを追求し、1年がかりで【Re:getA】が出来上がりました。

メイド・イン・生野の靴を作ることにこだわり、生野区の靴作りの職人や工場と連携することで生野を元気にしたい!と熱い思いに燃える高本さん。いまや同社の製品は東南アジアを中心に世界で販売されています。

株式会社 生田

代表取締役 長井宏治さん

生田ランドセルは、基本モデルをベースに、色や糸、金具、内側の模様など好みに合わせて変更できるセミオーダーが中心。



ランドセルの製造販売会社。創業1950年、現在では年間5,000本のランドセルを製造し、地元の方から「生田カバン」「生田ランドセル」と親しみを込めて呼ばれています。子どもの成長とともに風合いが増す革の良さを生かしたランドセルを作りたいと考え、同社は本革ランドセル専門。

自社工場で職人が手作業で作るため一日に作れる数は15本ぐらい。それでも手作りにこだわるのは、6年間使い続けられる頑丈な品質を維持するためだそう。



- ▲ 収納を考えたつくり。
A4フラットファイル対応



- ▲ 内装の柄や鉤もおしゃれなパーツが揃い、糸やフチの色を変えたりと、好みに合わせてカスタマイズできる。

ランドセル選びは一大イベント。実物を見て、背負ってみて、家族で楽しみながら選んでほしい。

ランドセル選びを通じて家族の思い出作りをしていただきたい、と代表取締役の長井さん。職人の作業風景を見学できるよう工房を公開しているのも、思い出作りのための工夫。真剣な瞳で作業にあたる職人からは、6年間大切に使い続けてほしいという想いが感じられます。

2018年 6月号

株式会社 ダイヤ

代表取締役社長 多田広さん

人こそ活力。
当社の1番の魅力です。



パンdeしあわせ～「生きる」から「楽しむ」へ～
チームワーク抜群のスタッフ(人)が作るパンは
“おいしさ”だけでなく“ぬくもり”も提供。

駅や地下街などにあるベーカリーショップ「cook house (クックハウス)」・「DIA (ダイヤ)」を運営する株式会社ダイヤ。戦後の学校給食用パンからはじまり70年以上続く老舗のパン屋。当時は、誰もが味や形よりも、空腹を満たすことを最優先にしていた時代。みんなが「生きるために」はじめたパン作りは、時代とともに、次第に「生活を楽しむ」することをめざすようになり、彩り・味わい・豊富な種類など、食べることが楽しくなるパンを提供する「デリベーカリー」へと進化。



「おいしさ」「安心」「健康」をモットーに
国産の天然素材・酵母を使用し、ひとつひとつ手作りにこだわる。

天然酵母はその店オリジナルの味わいを出せるが、天然ゆえ安定性に欠け、品質を均一に保つための技術が必要になり、大量生産に向かない。機械を使わず、職人の手で作るからこそ、天然酵母を使った風味豊かな商品を提供している。

「愛情こそがおいしい商品を生み出す」という信念を持った職人たちが一丸となり、妥協を許さず作り上げたパンは、おいしさだけでなく「人のぬくもり」が詰まっている。

平井木工挽物所

代表 平井守さん



銘木から作りだされる万年筆は
世界にひとつだけの
“大人のこだわり文房具”

今もなお、昔ながらの轆轤を用いて作りあげる木製の万年筆、ボールペンは、数多くの雑誌や新聞、テレビなどでも紹介され、注目されている。

工房は、平井さんが23歳の時に創業。傘の先端部や柄、化粧筆、筆ペンなどを作っていたが、安い輸入品のあおりを受け、さらに指の怪我もあり、一時は廃業も覚悟。それでも「不器用だから、木を挽くことしかできない」という職人魂と、ペンを制作していた経験から、木を用いたオリジナル文房具を作りはじめた。



万年筆やボールペンに、使用される天然木は屋久杉、黒檀、カリンのこぶ等、稀少な銘木ばかり。また図面や下書きもなく、手の感覚だけで木を削り作り上げる作業は職人の技が光る。

「“カチッ”とキャップがはまる瞬間が気持ちいい」と平井さんは言う。

世界にひとつだけの「大人のこだわり文房具」は、退職祝いや結婚式の引き出物など、大切な記念日の贈り物として選ばれている。



2018年 8月号